

2004年度(2004年1月1日から
2004年12月31日まで)事業報告書

1. 事業の概要

1-1. 学術的会合

1-1-1. 第59回年次大会

会期: 3月27日(土)~30日(火)

会場: 九州大学箱崎キャンパス(福岡市東区箱崎)

講演数: 4,071件

原著講演 3,806件 シンポジウム講演 227件 特別・招待講演 35件

総合講演 3件

参加登録者数: 5,230名

会員 5,111名(一般3,367名 学生1,744名)

非会員 119名(一般56名 学生63名)

総合講演: 福岡市民会館大ホール(福岡市中央区天神)

「The present status of KPS activities and physics in Korea」45分

Chung-Nam Whang(韓国物理学会会長)

「第二世代の出現」45分 西島和彦(仁科記念財団)

「理科離れ」社会から「安心・安全・信頼」社会への科学者の役割

45分 北原和夫(国際基督教大学)

ほかに、現地実行委員会企画による以下の一般市民向け講演会を開催した。

企画: 日本物理学会公開講座(一般市民向け)

「宇宙にちりばむ夢を求めて」

若田光一(宇宙航空研究開発機構: 宇宙飛行士)

会期: 3月29日(月)

場所: 福岡市民会館大ホール(福岡市中央区天神)

参加者数: 約1,000名

1-1-2. 秋季大会

1-1-2-1. 素粒子・核物理・宇宙線関係大会

会期: 9月27日(月)~30日(木)

会場: 高知大学朝倉キャンパス(高知市曙町)

講演数: 788件

原著講演 724件 シンポジウム講演45件 特別・招待講演19件

参加登録者数: 928名

会員 901名(一般579名 学生322名)

非会員 27名(一般9名 学生18名)

ほかに、現地実行委員会企画による以下の一般市民向け講演会を開催した。

企画: 市民科学講演会

「素粒子、地球、太陽のなぞに挑むニュートリノ実験: カムランド」

鈴木厚人(東北大学)

「宇宙の果てから太陽系外惑星へ」

須藤 靖(東京大学)

(須藤氏は当初講演予定の佐藤勝彦氏が体調不良のため急遽代わりに講演)

1-1-2-2. 物性関係を含む上記以外の大会

会期: 9月12日(日)~15日(水)

会場: 青森大学(青森市幸畑)

講演数: 3,078件

原著講演 2,948件 シンポジウム講演 112件 招待講演18件

参加登録者数: 3,656名

会員 3,574名(一般2,291名 学生1,283名)

非会員 82名(一般26名 学生56名)

ほかに、現地実行委員会企画による以下の一般市民向け講演会を開催した。

企画: 市民科学講演会「科学する楽しさ—物理学の世界—」

「電子の波で見るミクロの世界」—英国王立協会金曜講話の再現—

外村 彰(日立製作所フェロー)

「物理学」—過去・現在・未来—

米沢富美子(慶応大学名誉教授)

会期: 9月12日(日)

場所: ば・る・るプラザ青森(青森市)

参加者数: 約440名

1-1-3. 科学セミナー

セミナー名: アインシュタインと21世紀の物理学

会期: 8月5日(木)~6日(金)

会場: 牛込筆筒区民ホール(東京都新宿区)

演題: 10題

聴講者: 266名(会員66名, 大学院生を含む学生111名, 協賛学会および賛助会員23名, 一般22名, 中高校教員44名)

1-1-4. 公開講座

文部科学省から科学研究費補助金研究成果公開促進費「研究成果公開発表(B)」の補助を受け、主に高校生、ほか一般市民等を対象に次の公開講座(聴講無料)を開催した。

1-1-4-1. 理事会企画

企画名: ニュートリノ~この未知なるものとそれをとりまくもの~

会期: 11月6日(土)

場所: 中央大学理工学部大講義室

参加者数: 142名

補助金額: 106万円

1-1-4-2. 大阪支部企画

企画名: われわれの宇宙はどうして物質のみからできているのだろうか

会期: 11月20日(土)

場所: 大阪大学中之島センター

参加者数: 207名

補助金額: 105万円

1-1-5. 国際会議

1-1-5-1. 第14回超高速現象国際会議(共催)

(The Fourteenth International Conference on Ultrafast Phenomena)

主催: 第14回超高速国際会議組織委員会

会期: 7月25日(日)~30日(金)

場所: 朱鷺メッセ(新潟市)

本会代表運営委員: 小林孝嘉氏(東大理)

参加者数: 334名

1-1-5-2. 第3回放射線教育に関する国際シンポジウム (ISRE 04) (共催)

(The Third International Symposium on Radiation Education)

主催: 特定非営利活動法人 放射線教育フォーラム

会期: 8月22日(日)~26日(木)

場所: ブリックホール(長崎市)

本会代表運営委員: 加藤和明氏(茨城県立医療大)

参加者数: 141名

1-1-5-3. Pre-Conference of ICMM2004—Perspectives on Single-Molecule

Magnets and Single-Chain Magnets—

主催: 科学技術振興機構

会期: 10月4日(月)

場所: OKURA Frontier Hotel Tsukuba(つくば市吾妻)

本会代表運営委員: 宮坂等氏(都立大理)

参加者数: 50名

1-1-5-4. 第15回非弾性イオン表面衝突国際ワークショップ(共催)

(15th International Workshop on Inelastic Ion Surface Collisions)

主催: 応用物理学会

会期: 10月17日(日)~22日(金)

場所: 伊勢志摩ロイヤルホテル(三重県志摩郡磯部町)

本会代表運営委員: 越川孝範氏(大阪電通大)

参加者数: 148名

なお、上記4件の国際会議を共催した他に、35件の国際会議の協賛・後援を行った。

1-1-6. その他

1-1-6-1. 支部例会、支部特別企画等

本会の10支部において、例会、特別企画等の会合を開催した。

1-1-6-2. 国内会議等の共催・協賛・後援

130件の国内会議等の共催・協賛・後援を行った。

1-1-6-3. 国立科学博物館、日本物理教育学会との共催事業「自然の不思議

—物理教室—」

共同主催: 日本物理学会、国立科学博物館、日本物理教育学会

会期: 6月5日(土)、7月17日(土)、9月4日(土)、11月6日(土)、12月

4日(土)

場所: 国立科学博物館上野新館(東京都台東区)

なお、今年度から場所を上野新館に変更するとともに、主な対象者も中学生・高校生から小学5、6年・中学生に変更した。

1-2. 刊行関係

1-2-1. 日本物理学会誌

第59巻第1号~12号を刊行した。A4変形判、月刊。

ページ数: 総ページ1,546 月平均128.8ページ(予算140ページ)

刊行部数: 総刊行部数227,100 月平均18,925(予算19,000)

ほかに年次大会・秋季大会のプログラムとして3月号付録148ページ(本文)18,500部と秋季増刊号(8月刊)144ページ(本文)18,950部を刊行した。

1-2-2. JOURNAL OF THE PHYSICAL SOCIETY OF JAPAN (JPSJ)
Vol. 73 No. 1~13の13冊(No. 13はVolume Index)を刊行した。A4判、月刊。
ページ数: 総ページ数 3,499(Index含まず)月平均(Index含まず)292(予算352)
刊行部数: 総刊行部数 18,800 月平均(Index含まず)1,567(予算1,550)
掲載論文: 本論文 391 Letters 161 Short Notes 30 Addenda 3 Comments 0 Errata 2 Invited Review Paper 2

1-2-3. 講演概要集
A4判 各4分冊

分冊	第59回年次大会 (第59巻第1号)		秋季大会 (第59巻第2号)	
	刊行部数	本文ページ数	刊行部数	本文ページ数
1	450	138	450	88
2	1,250	290	1,250	248
3	1,350	236	1,300	244
4	1,550	332	1,500	304

1-2-4. 大学の物理教育

B5判 年3回(3月, 7月, 11月)発行 総ページ数 204 1号平均約68ページ 毎号2,100部刊行

1-2-5. 科学セミナーテキスト

8月に開催した科学セミナー「アインシュタインと21世紀の物理学—2005年世界物理年へ向けて—」のテキスト A4判 150ページ 480部刊行

1-2-6. 公開講座テキスト

次の企画のテキストをそれぞれ刊行し、無料で配布した。

1-2-6-1. 理事会企画

「ニュートリノ〜この未知なるものとそれをとりまくもの〜」

B5判 61ページ 500部刊行

1-2-6-2. 大阪支部企画

「われわれの宇宙はどうして物質のみからできているのだろうか」

A4判 33ページ 300部刊行

1-2-7. 本会編の単行本

「宇宙を見る新しい目」日本物理学会編 日本評論社発行 A5判 223ページ 本体価格2,400円

1-3. 国際交流・協力

国際交流・協力として、次のような事業を行った。

1-3-1. AAPPS(アジア・太平洋物理学学会連合)の加盟学会として活動支援、機関誌 AAPPS Bulletin の刊行援助、総会への代表派遣

1-3-2. ASPEN (Asian Physics Education Network) への協力

1-3-3. 開発途上国からの投稿者への JPSJ 別刷代援助

1-3-4. 開発途上国等への JPSJ の寄贈

1-3-5. IUPAP (International Union of Pure and Applied Physics) への活動支援

1-4. 図書雑誌および物理学史資料の供覧

本会所蔵の図書・雑誌、物理学史資料を会員の利用に供した。

1-5. 第9回論文賞の表彰

JPSJ および PROGRESS に掲載された論文の中から、優れた論文3篇を選び表彰した。

1-6. 日本学術会議および文部科学省等への協力

日本学術会議、物理学研究連絡委員会(物研連)活動への協力を行った。

1-7. 中央教育審議会への提言

本会、日本物理教育学会、応用物理学会の三学会長名で標記審議会へ初等中等教育に関する提言を行った。なお、提言の際に記者会見も行った。

1-8. 物理教育・理科教育、JABEE、男女共同参画、研究者環境分析、等に関する活動

1-8-1. 「理数系学会教育問題連絡協議会」への参加・協力

中央教育審議会への提言を行った。

1-8-2. 「日本技術者教育認定機構 (JABEE)」関係

1-8-2-1. 物理・応用物理学関連分野での協力

1-8-3. 男女共同参画関係

1-8-3-1. 男女共同参画学協会連絡会への参加・協力

1-8-3-2. 男女共同参画学協会連絡会設立2周年記念シンポジウムの開催(幹事学会として参加)

1-8-4. 2005世界物理年関係

2005世界物理年日本委員会が発足し、本会も当該委員会に参加・協力して活動を行った。

1-8-5. 研究者の環境分析

会員に行ったアンケートの結果を「会員アンケートの分析結果」としてまとめた。

1-9. 電子化・ホームページ関係

1-9-1. ホームページによる本会の情報公開

1-10. 物理系学術誌刊行協会 (IPAP) への運営協力

JPSJ の編集・刊行を委託している「物理系学術誌刊行協会 (IPAP)」

への運営協力を行った。

1-11. その他

1-11-1. PROGRESS OF THEORETICAL PHYSICS (PROGRESS)

本会との共同により理論物理学刊行会が Vol. 111 No. 1~6 Vol. 112 No. 1~6 を刊行した。B5判、月刊

ページ数: 総ページ数 2,166 月平均 180(予算 200)

刊行部数: 総刊行部数 12,600 月平均 1,050(予算 1,050)

掲載論文数: 本論文 103(うち Invited Paper 2) Letters 13

なお上記のほか Supplement No. 153~156 の4冊を刊行した。

2. 処務の概要

2-1. 総会・役員会等に関する事項

2-1-1. 総会

2-1-1-1. 第77回通常総会

3月27日(土)夕方、第59回年次大会(九大箱崎キャンパス)の会場で開催した。2003年度事業報告書(会員の異動状況報告書を含む)・収支決算報告書、2004年度事業計画書・収支予算書が原案通り承認された。また、第61期会長(佐藤勝彦氏)、第60期~61期理事、第60期~61期監事を選出した。

2-1-1-2. 第78回臨時総会

5月15日(土)午後、本会会議室で開催した。第60期~61期理事(追加)を選出した。

2-1-2. 理事会

下記期日に開催した。

第444回	1月10日	第445回	2月14日	第446回	3月16日
第447回	4月10日	第448回	5月15日	第449回	6月12日
第450回	7月10日	第451回	8月20日	第452回	9月6日
第453回	10月9日	第454回	11月13日	第455回	12月11日

2-1-3. 特別委員会

下記期日に開催した。

2-1-3-1. 会誌編集委員会

1月24日	2月21日	3月13日	4月17日	5月15日	6月19日
7月17日	8月17日	9月25日	10月16日	11月27日	12月18日

2-1-3-2. JPSJ 編集委員会

1月26日	2月24日	3月23日	4月26日	5月26日	6月25日
7月21日	8月24日	9月22日	10月13日	11月15日	12月15日

2-1-3-3. 刊行委員会議

4月9日 5月26日

2-1-3-4. 受賞候補等推薦委員会議

1月19日 7月16日 9月24日

2-1-3-5. 論文賞選考委員会議

2月20日

2-1-3-6. 物理学史資料委員会議

3月19日 7月20日 10月12日

2-1-3-7. 物理教育委員会議

1月31日 4月3日 7月28日 10月5日 11月20日

2-1-3-8. 広報委員会議

5月12日 12月10日

2-1-3-9. JABEE 委員会議

7月9日

2-1-3-10. 男女共同参画推進委員会議

1月10日	3月6日	4月24日	6月5日	8月7日	9月7日
10月2日	12月4日				

2-1-3-11. 研究者の環境分析委員会議(8月末で解散)

1月31日 3月22日 5月30日 8月11日

2-1-3-12. 情報システム運用委員会議

2月14日 4月9日 6月4日 7月2日 10月8日

2-1-3-13. 領域委員会議

6月4日 11月25日

2-1-3-14. 事務局運営委員会議

(上記会議としてではなく、適宜関係理事が集まり検討を行った。)

2-1-4. その他

上記のほか会計理事会議および理事会・特別委員会内に設置された小委員会議、大学の物理教育編集委員会、等を必要に応じて開催した。

2-2. 許可、認可および承認に関する事項

申請月日	申請先	申請事項	指令月日
(なし)			

2-3. 契約に関する事項

契約月日	相手方	契約の種類	期間
9月8日	(株)東京洋紙店	「日本物理学会誌」用紙供給に関して	1年
12月16日	(株)日本評論社	「アインシュタインと21世紀の物理学」出版に関して	—

3. 会員の異動状況

会員種別	会 員 数		増 減
	2003年 12月31日現在	2004年 12月31日現在	
正 会 員	18,135 ¹⁾	17,664 ²⁾	-471
学生会員	88	168	80
賛助会員	103(414 口)	101(397 口)	2(-17 口)
特別会員	1,018 ³⁾	986 ⁴⁾	-32
計	19,344	18,919	

¹⁾ うち名誉会員 2, 終身会員 613, 大学院生で学生会員会費適用者 2,059

²⁾ うち名誉会員 2, 終身会員 611, 大学院生で学生会員会費適用者 2,628

³⁾ 会誌: 国内 326 国外 5, JPSJ: 国内 252 国外 435

⁴⁾ 会誌: 国内 312 国外 4, JPSJ: 国内 206 国外 464

(第79回通常総会第2号議案別紙2)

2005.3.24

社団法人 日 本 物 理 学 会

2004年度(2004年1月1日から2004年12月31日まで)収支計算書

経常部本会計 1. 本会計 (ストック式)

【税込】金額単位: 円

勘 定 科 目	予 算 額	決 算 額	差 異 (△は予算超を表す)	備 考
[収 入 の 部]				
基本財産運用収入				
基本財産配当金収入	4,000	15,120	△11,120	
基本財産運用収入	中計 4,000	15,120	△11,120	
入会金収入				
入会金収入	3,600,000	3,900,000	△300,000	
入会金収入	中計 3,600,000	3,900,000	△300,000	
会費収入				
正会員収入	188,734,500	184,443,870	4,290,630	
特別会員会費収入	8,222,600	7,105,540	1,117,060	
賛助会員会費収入	14,000,000	13,370,000	630,000	
会費収入	中計 210,957,100	204,919,410	6,037,690	
事業収入				
学術的会合事業収入	50,969,632	48,727,517	2,242,115	
会報・資料刊行事業収入	53,200,604	52,727,841	472,763	
国際協力関係事業収入	0	38,450	△38,450	
事業収入	中計 104,170,236	101,493,808	2,676,428	
補助金等収入				
公共団体補助金収入	34,800,000	46,500,000	△11,700,000	
公共団体補助金収入	25,000,000	16,300,000	8,700,000	
国庫補助金収入	4,790,000	1,060,000	3,730,000	
支部補助金収入	0	1,050,000	△1,050,000	
地方公共団体補助金収入	3,000,000	5,987,518	△2,987,518	
補助金等収入	中計 67,590,000	70,897,518	△3,307,518	
負担金収入				
別刷作成費投稿者負担金収入	587,200	470,965	116,235	
名簿作成費希望者負担金収入	7,667,500	5,216,630	2,450,870	
負担金収入	中計 8,254,700	5,687,595	2,567,105	
寄付金収入				
一般寄付金収入	0	600,000	△600,000	
寄付金収入	中計 0	600,000	△600,000	
IPAP 関係収入				
出向者関係収入	20,730,000	23,666,200	△2,936,200	
IPAP 退職積立受入れ金収入	3,422,000	1,037,829	2,384,171	
IPAP 関係収入	中計 24,152,000	24,704,029	△552,029	
雑収入				
受取利息	200,000	27,555	172,445	
雑収入	1,352,000	11,964,175	△10,612,175	(注)
雑収入	中計 1,552,000	11,991,730	△10,439,730	

(注)未決会費の過去分を当年で一括処理したため。